

私なき献身 たたえ

三木記念賞・助成金授与式 6人、4団体表彰

「私なき献身」を貫き、県政発展に尽くした故三木与治知事の業績をたたえ、地域社会に貢献した個人、

団体を顕彰する本年度の県三木記念賞・同助成金の授与式が四日、岡山市古京町の岡山衛生会館三木記念ホール・ホワイエで行われ、個人六人と四団体が表彰された。

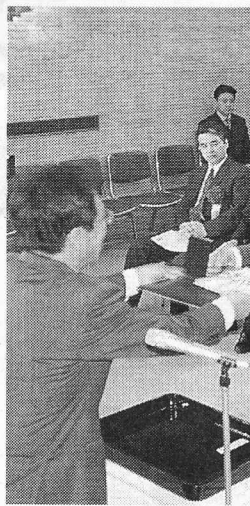
館長の宮地暢夫氏(モロヘ)倉ら歩み、継続が力になった。敷市八王寺町IIが「受賞者 きようの感激を契機に、賞はいずれも志す道をひたす」の名に背かないよう心新た

に歩んでいきたい」とお礼を述べた。



三木記念賞は宮地氏のほか、社会部門が奥婦人協議会長の水野三重子氏(モロヘ)総社市見延、産業部門が前井原商工会議所会頭の犬塚長六氏(ハニ)井原市高屋町、文化部門が倉敷市大山名人記念館長で棋士の有吉道夫氏(オホ)兵庫県宝塚市仁川高丸IIと木工芸家の林鶴山(本名・文男)氏(モロヘ)倉敷市水江、国際親善部門が国際医療ボランティア団体・AMDA理事長菅波茂氏(モロヘ)岡山市榎津。

受賞者、来賓ら約二十人が出席。石井知事が三木記念賞受賞者に表彰状とメダル、賞金三十万円、助成金受賞団体の代表に表彰状と五十万円を手渡し「皆さんは三木元知事の公共奉仕の理念を受け継ぎ、各部門の発展に尽力された。今後もさらなる活躍で、ますます磨きをかけてください」とあいさつ。行政部門で受賞した元県教育長で県立美術



助成金は社会部門が県里親会(永宗幸哉理事長)、産業部門が山田養蜂場(山田英生社長)、文化部門が岡山石井知事から表彰状などを贈られる受賞者たち

混声合唱団(片山康雄团长)、国際親善部門がノートルダム清心女子大マレーシア奉仕団(高木孝子学長)。